

仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会

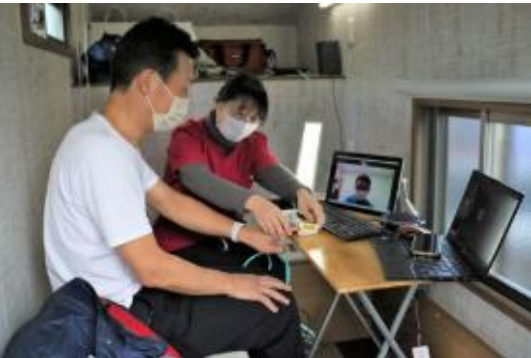
- 仙台市・東北大学・民間企業の産学官連携により、複数分野のデータ連携による先端的サービスの創出を通じて、市民ニーズに即した地域課題の解決を図る。



▼津波避難広報、医薬品搬送等
様々なドローン実証実験を実施



▼オンライン診療・オンライン服薬 指導実証実験



参画事業者：85社
2025年10月末時点

**ゼロカーボンシティ
分科会**

ウェルネス分科会

**まちのレジリエンス
分科会**

**まちの活性化・回遊
分科会**

一般会員

東北電力グループ

NECソリューションイノベータ

東京海上日動

NTT東日本

DASSAULT SYSTEMES

土本建設株式会社

HITACHI

株式会社西田屋

ALPS ALPINE

WIP

大成建設

Pacific Consultants

5G Innovations

NTT Communications

Orchestrating a brighter world

NEC

SUSE

in 鹿島

Digital Platformer

FUJITSU

Johnson & Johnson

DAIWA

IMPACT PAPER

Frontier

SECOM

TOPPAN

TOPPAN エッジ株式会社

HaploPharma Inc.

KPMG

みんなのまちの未来

三菱商事

Wasshoi Lab

zero D one

アイリスオーヤマ

Rakuten

PASCO

宮城県結核予防会

NTT

NTT-Drone Technology

SENSYN ROBOTICS

SEQSENSE

豊田通商株式会社

IRIS ROBOTICS

NEC ネットエスアイ

NITAN

Vi-Crew

Fabo

SIRU+

Fam's Baby

Qoly's

NITTOKU

TAS

Renascence

ZERO PLUS

JB

jekii

NTT DATA

株式会社 日立ソリューションズ 東北

損害保険ジャパン株式会社

三井住友

仙台放送

河北新報社

住友商事

Q&A

POLA

dentsu

i&c partners

AST

日本システム技術株式会社

STYLY

RENAISSANCE

カメイ

U-media

大林組

三井住友信託銀行

賛助会員

東北芸術工科大学

宮城大学

77 七十七銀行

NICT

1

自動運転バス事業

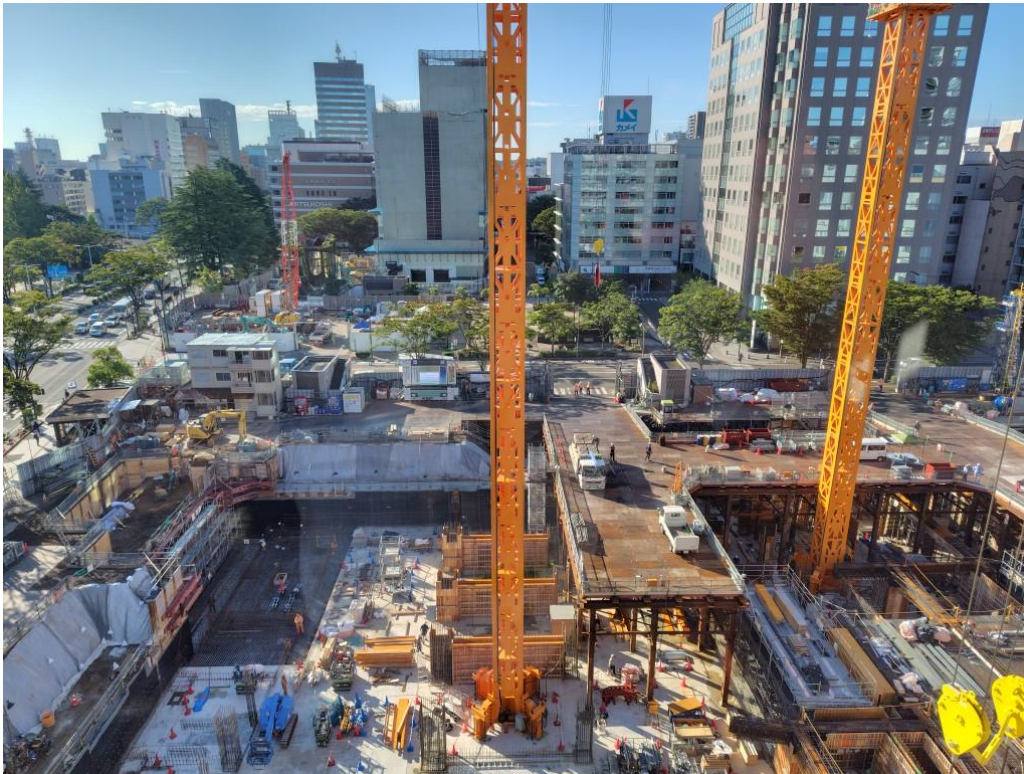
- 人口減少と高齢化などにより、運転士不足等を主な要因として、路線バスの減便等が相次いでいる
- 公共交通サービスの維持や観光の二次交通課題等の解決策として、自動運転の実証実験を行い、技術面・経営面などを検証
- 市中心部の城跡や公園などの観光資源が集まる象徴的なエリアにおいては、技術・経営面に加えて、社会的受容性について検証
- 標高約130mの城跡まで、最大斜度15%の急勾配、急カーブが続く道を乗客を乗せて運行しており、実証フィールドとして非常に先進的な事業



仙台市×東北大学スマートフロンティア協議会

AI搭載四足歩行ロボット事業

- 日本では労働力不足を背景に、建設業や農業において、業務の省力化が強く望まれている
- 仙台市の新市役所建設現場において、画像解析AIを搭載した四足歩行ロボットによる自動監視を実証



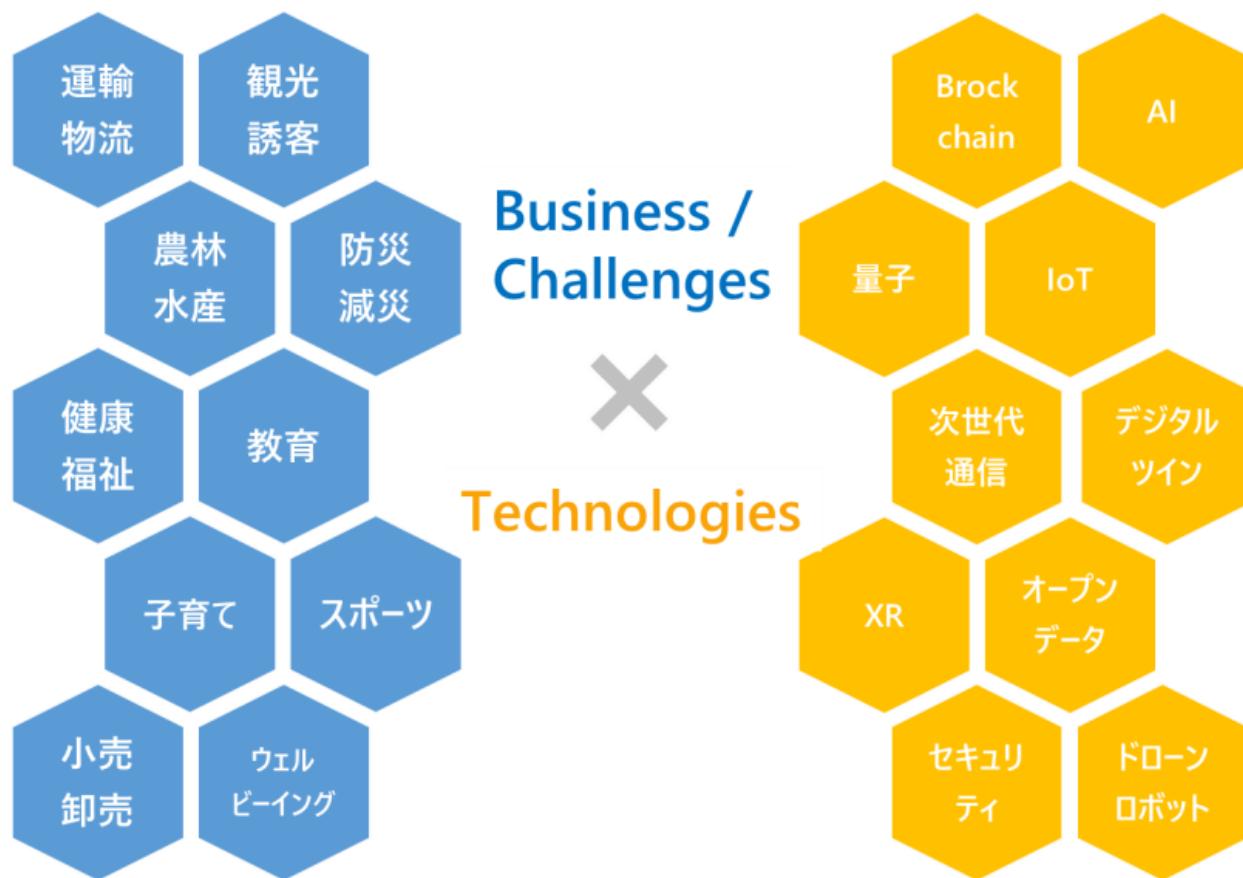
画像解析AIにより、現場で異常内容を解析し、
現場から離れた監視室へ即時通知

今後、他分野・異種業界への応用を通じて、労働力不足の解消に繋げていく

SENDAI X-TECH INNOVATION PROJECT

SENDAI X-TECH INNOVATION PROJECTの概要

仙台市が地域企業の「既存産業」×「先端テクノロジー」を融合した新しい製品やサービスの創出を支援



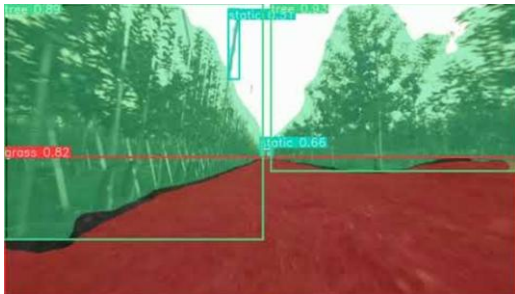
地域企業が抱える課題に対し、
仙台市がワークショップや伴走型で
課題解決を図るプログラムを展開

AIを取り入れた農業用運搬ロボットの導入、
レタス生育管理のAI化などを支援

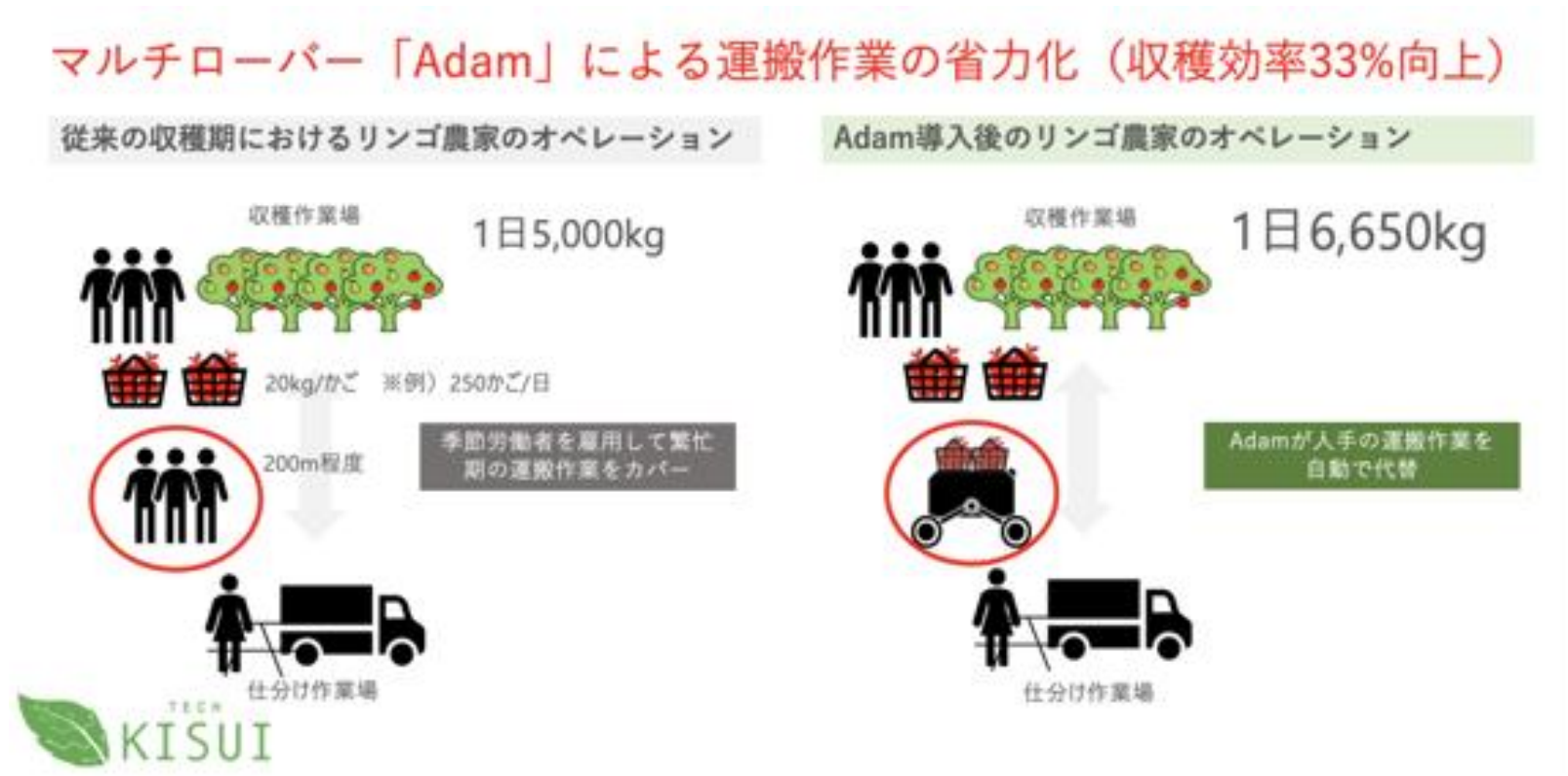
SENDAI X-TECH INNOVATION PROJECT

「AIを活用した農業データソリューション」 画像分析AIを活用した農業用運搬ロボットの導入

- 仙台市の財政支援、販路開拓支援を受けて東北大学発のスタートアップが開発・販売
- 収穫物の運搬をロボットが代替する「農業用自動運搬ロボット」の高性能化に取り組み、カメラの画像認識で人を見分けて追従することや最適経路を判断する機能を搭載



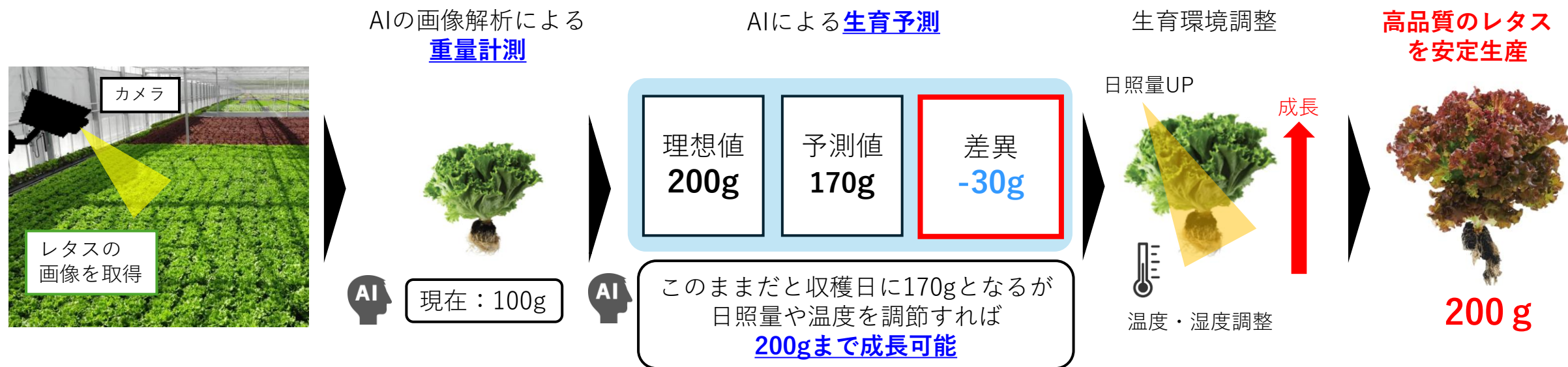
画像分析AIで障害物等を避けて運搬



- 収穫期における人手不足を代替できるほか、収穫効率の向上につながっている
- 日本では既にリンゴやナシなどの果樹園で導入、欧州企業と覚書を結び、欧州のスマート農業を推進

「AIを活用した農業データソリューション」 レタス生育管理AI化プロジェクト

- 仙台市が市内農業生産法人とIT企業、大学教授等をマッチングさせ、伴走型でプロジェクトを推進
- AIによる画像解析や生育予測を取り入れた生産管理手法を検証
- AIによりレタスの重量を計測し、環境データ（日照量、温度など）からレタスの生育を予測、生育環境を調整することで、生産を最適化するシステムを開発中



今後、他の農産物にも応用し、農業全体の効率化に繋げていく